

2026年度 大学院選抜

入学試験問題集

目 次

芸術情報研究科 情報表現専攻

論文	3
----------	---

芸術情報研究科 音楽表現専攻

音楽史	4
-----------	---

総合政策研究科 政策行政専攻

論文	5
----------	---

<各専攻共通>

芸術情報研究科 情報表現専攻

芸術情報研究科 音楽表現専攻

総合政策研究科 政策行政専攻

英語	6
----------	---

日本語	10
-----------	----

解答例（英語・日本語）	26
-------------------	----

2026年度 入学試験問題の出題意図	38
--------------------------	----

※過去問題の一部は、著作権の観点から黒塗り（マスキング）処理を施しています。

芸術情報研究科 情報表現専攻 論文①

以下について1200字以内の論文を作成せよ。

大学院で研究、制作しようとする自分の研究テーマについて以下の点を含むように述べよ。

- ① 先行研究、先行作品の状況
- ② 自分の研究テーマと先行研究、先行作品の関連

なお先行研究、先行作品は自分以外のものとする。

芸術情報研究科 情報表現専攻 論文②

以下について1200字以内の論文を作成せよ。

大学院で研究、制作しようとする自分の研究テーマについて以下の点を含むように述べよ。

- ① 自分の研究テーマを取り巻く現在の状況について
- ② 自分の研究テーマは今後の研究分野にどのような影響を与えうるか

なお現在の状況、今後の研究分野は自分の研究以外についても記述すること。

芸術情報研究科 情報表現専攻 論文③

以下について1200字以内の論文を作成せよ。

大学院で研究、制作しようとする自分の研究テーマについて以下の点を含むように述べよ。

- ① 先行研究、先行作品の状況。
- ② 自分の研究、制作は各分野の現在の状況にどのように位置付けられるか。
- ③ 今後予想される各分野の状況と自分の研究、制作との関連。

なお先行研究、先行作品は自分以外のものとし、分野については自分の研究テーマに関する分野を自分で定めて回答すること。

西洋音楽史①

以下の4つのテーマより1つを選んで400字程度にまとめて論じなさい。

- 【1】 バロック時代の音楽について
- 【2】 シューベルトの交響曲について
- 【3】 ソナタ形式について
- 【4】 ベートーヴェンの交響曲について

西洋音楽史②

次のテーマの中から1つを選び、400字程度で論じなさい。

- 【1】 バロック時代のオペラについて
- 【2】 古典派の室内楽について
- 【3】 ロマン派のバレエ音楽について
- 【4】 ブラームスの交響曲について

西洋音楽史③

以下の4つのテーマより1つを選んで、400字程度にまとめて論じなさい。

- 【1】 「標題音楽」について
- 【2】 ライトモチーフについて
- 【3】 最古のオペラの誕生した時代について
- 【4】 ロシアのバレエ音楽について

ジャズ史①

次の3つのテーマより1つを選び、論じなさい。

- 【1】 混血音楽としてのジャズ
- 【2】 ジャズのスタイル変遷
- 【3】 即興演奏と、プレイヤーの個性

ジャズ史②

次の3つのテーマより1つを選び、論じなさい。

- 【1】スイング～ビバップ～モードへの変遷
- 【2】ジャズ理論とフィーリング
- 【3】大衆性と芸術性

総合政策研究科 政策行政専攻 経済・経営コース 論文①

次の①～⑥から2問を選び、それぞれ500字以上で答えなさい。

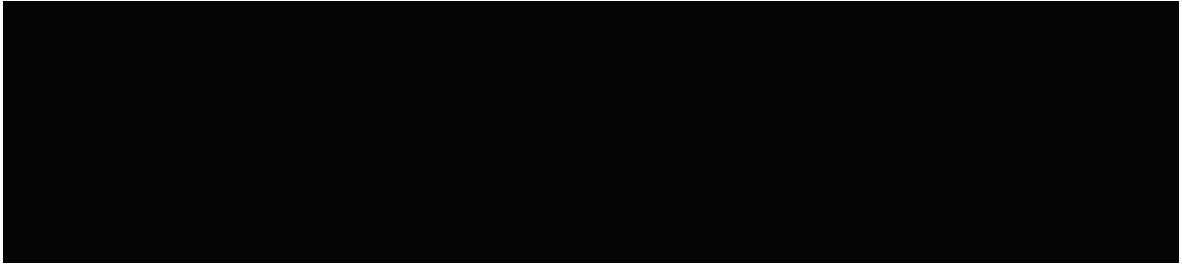
- ① 国際原油価格の変動が日本経済に及ぼす影響について論じなさい
- ② マクロ経済学における財政政策の目的と効果を論じなさい。
- ③ 近年の日本における賃金の変化について論じなさい。
- ④ 日本と諸外国における雇用制度の違いについて論じなさい。
- ⑤ 経済学における「市場の失敗」について論じなさい。
- ⑥ 国際的な貿易摩擦について経済学の観点から論じなさい。

総合政策研究科 政策行政専攻 論文②

以下①から⑦までの中から、自由に1問を選択し、1000字程度で答えなさい。

- ① 地域中小企業の差別化戦略の形成と変化について論じなさい。
- ② 米国制裁下のファーウェイを事例として、制度的制約下における企業戦略の再構築について論じなさい。
- ③ 中国における立ち退き再定住政策は、高齢者の社会関係や生活実態にどのような影響を与えているのか。近隣関係の変化や行政支援の役割に着目し、地域支援政策の観点から論じなさい。
- ④ SNS メディアは中小企業の海外展開にどのような役割を果たすのか。また、異文化間のコミュニケーションの観点から、文化差がSNS戦略の効果にどのような影響を与えるのかについて論じなさい。
- ⑤ 日本の地方都市において、観光政策は人口回帰および若者定住を促進するためにどのような役割を果たしているのか。雇用創出や地域環境の整備との関係を踏まえて考察しなさい。
- ⑥ ライブコマースにおいて、配信者の専門性や信頼性などの刺激要因は、消費者の衝動購買行動にどのような影響を与えるのか。S-O-R (Stimulus-Organism-Response) モデルの視点から説明し、日本市場の文化的特徴を踏まえて論じなさい。
- ⑦ 社会福祉法人に求められている「地域における公益的な取組」の意義について論じなさい。

II. 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。



問題 上記英文を全て日本語に直しなさい。

III. 次の各英文を日本語に直しなさい。

(1) Leave this tool as it is for the moment.

(2) The coach had the players run for another hour.

(3) Those who were against the proposal did not attend the meeting.

(4) Everything is exactly as it once was.

(5) Not receiving an answer, I wrote her again.

(6) If she had not married him, she would be happy now.

(7) I tried to persuade him, but in vain.

(8) No amount of wealth can satisfy him.

(9) Much to his relief, his car was not damaged.

(10) This book can be of much help to anyone who wishes to succeed.

IV. 次の日本語に合う英文を作りなさい。ただし、冒頭に来る語も小文字にしてある。

(1) 彼女は走る前に準備体操をすべきだった。

(have, she, some, exercise, should, before, warm-up, done, running).

(2) 彼の収入のおかげで我々は楽に暮らすことができた。

(enabled, income, to, in, his, us, live, comfort).

(3) 彼は私の倍の本を持っています。

(many, has, as, he, I, books, as, twice).

(4) なぜアリスがダイエットしたがるのか私には分かりません。

(wants, I'm, go, why, on, a, to, Alice, sure, not, diet).

- (5) どのくらいの期間、彼女はそこに滞在するつもりですか。
(is, stay, how, going, to, long, she, there).
-

V. 日本文に合うように、次の英文の () 内に適語を入れなさい。

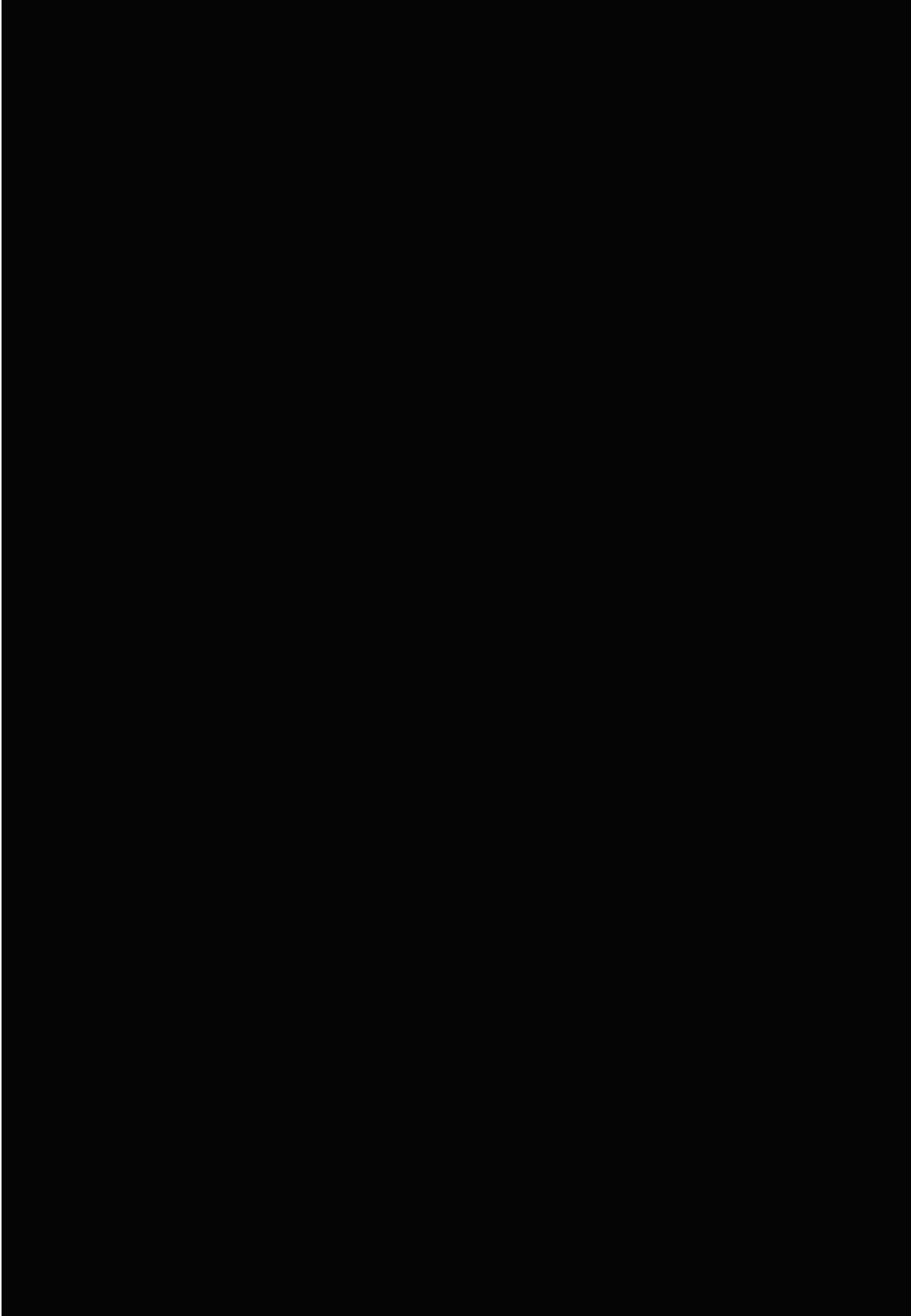
- (1) そんなにすぐに片付ける必要はないです。
You () have () tidy up so soon.
- (2) 彼が医者であるはずはない。
He () () a doctor.
- (3) 彼は医者だったに違いない。
He () () been a doctor.
- (4) もし明日雨が降れば私は家にいます。
If () () tomorrow, I'll stay home.
- (5) 私は駅への行き方がわかりません。
I don't know () () get to the station.
- (6) 彼女はダンサーというよりは歌手である。
She is not () () a dancer as a singer.

- (1) _____
- (2) _____
- (3) _____
- (4) _____
- (5) _____
- (6) _____

2026年度 尚美学園大学 大学院選抜 I期
日本語試験 問題

一、次の文章（齋藤孝「読書力」）を読み、本文に基づいて各問題に答えなさい。

受験番号		氏名	
------	--	----	--



問題一 文中の~~~~~ (波線) を引いてある漢字の読み方を書きなさい。

- | | | |
|---------|-----------|--------|
| (1) 基礎 | (2) 提示 | (3) 当 |
| (4) 怒り | (5) 負っている | (6) 無知 |
| (7) 厳しく | (8) 把握 | |

問題二 文中の==== (二重線) を引いてある漢字について、文脈に最も適した読み方を選び、【 】に記号を書きなさい。

- | | | | | | |
|--------|-----|---------|---------|---------|---------|
| (1) 大量 | 【 】 | a だりよう | b たいりよう | c おおりよう | d おうりよう |
| (2) 後 | 【 】 | a うしろ | b あと | c のち | d づ |
| (3) 十分 | 【 】 | a じゅつぶん | b じつぶん | c じゅうぶん | d とうぶん |
| (4) 上手 | 【 】 | a じょうず | b うわて | c かみで | d じょうしゅ |

問題三 A ~ D に当てはまる接続詞を選び、【 】に記号を書きなさい。

- | | | | | | |
|---|-----|--------|---------|-----------|----------|
| A | 【 】 | a そのため | b ゆえに | c しかし | d さらに |
| B | 【 】 | a そして | b たたし | c および | d 逆に |
| C | 【 】 | a だが | b つまり | c 一方 | d とはいえ |
| D | 【 】 | a 他方 | b したがって | c にもかかわらず | d それはさうと |

問題四 1 ~ 6 に当てはまる副詞を選び、【 】に記号を書きなさい。

- 1 【 】 a いずれ b 決して c めつたに d すっかり
- 2 【 】 a たしかに b あくまで c せつかく d おそらく
- 3 【 】 a びつたりと b たつぷりと c 一段と d わざと
- 4 【 】 a ごく b たまたま c 全然 d なおさら
- 5 【 】 a せいせい b どうやら c はつきりと d やがて
- 6 【 】 a らと b ますます c つい d 多少

問題五 文中の (一本線) と異なる意味の文を選んで、【 】に記号を書きなさい。「異なる意味」を選びなさい。

① まったくと言っていいほど読まない者が三割ほどはいる。

- 【 】 a ほとんど本を読まない人が約三〇%いる。
 b あまり本を読まない人がおよそ三〇%いる。
 c 本をめつたに読まない人がだいたい三〇%いる。
 d 読書習慣がまるでない人がほぼ三〇%いる。

② 無理のないことなのかもしれない。

- 【 】 a 不思議なことだと言えるだろう。
 b 仕方のないことかもしれない。
 c あり得ることと思われる。
 d 自然な流れとも考えられる。

③ 読書は単に情報の摂取のためにあるばかりではない。

- 【 】 a 読書は情報を取り入れるためだけに行うものではない。
 b 読書は情報を得る以外にも多くの役割を果たす。
 c 読書は情報を集めるだけの行為である。
 d 読書は情報を得る手段にとどまらない。

④ 本をめぐる会話が活性化する。

- 【 】 a 本についての対話が盛んになる。
 b 本に関する話題や意見交換が盛んになる。
 c 本のことを話す機会が限られる。
 d 本についてのコミュニケーションが豊かになる。

問題六 文中の (波線) は何を指しているか書きなさい。

① こんなことは大学ではかつては当たり前のことであつた。

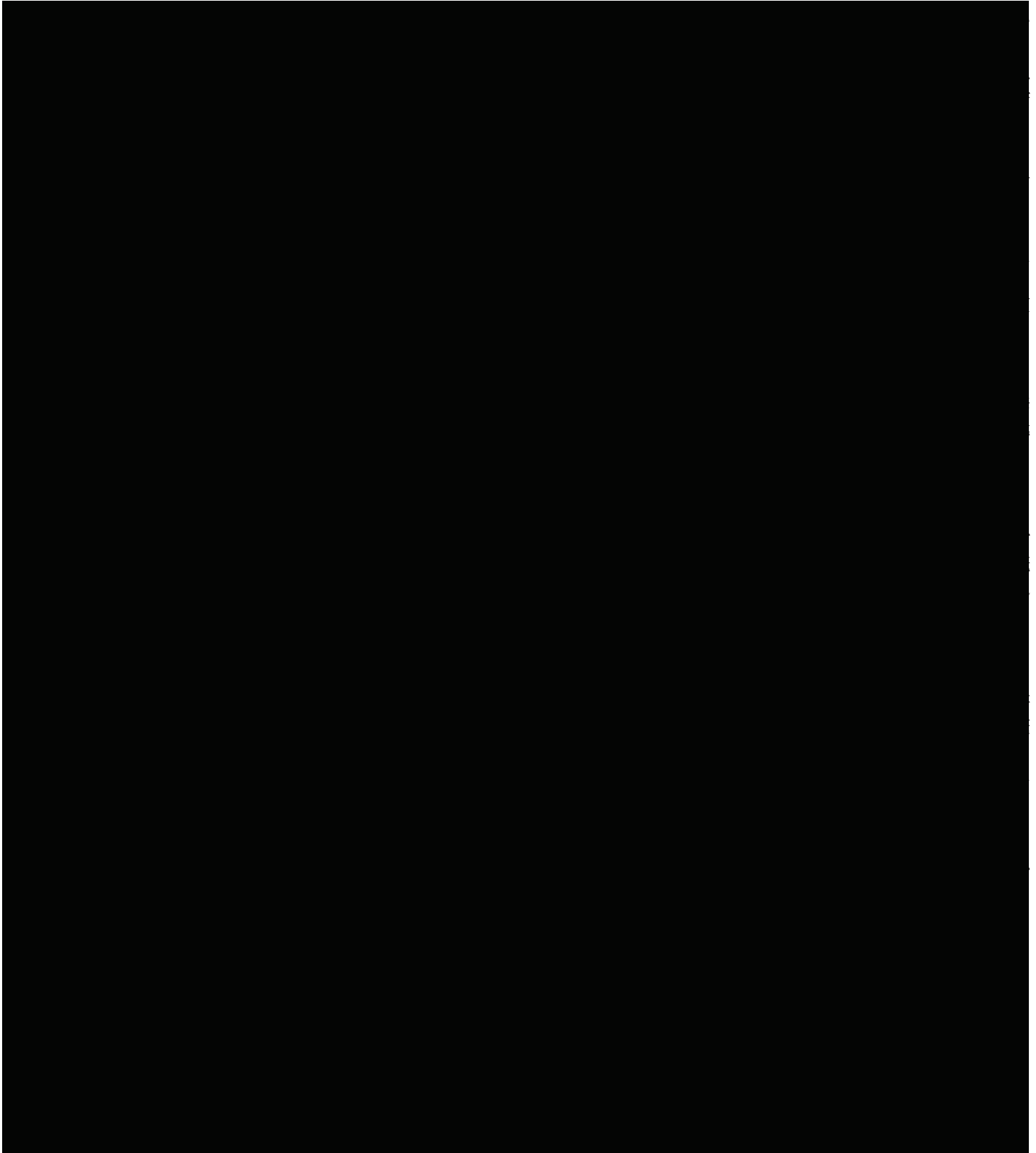
② こう断言したい。

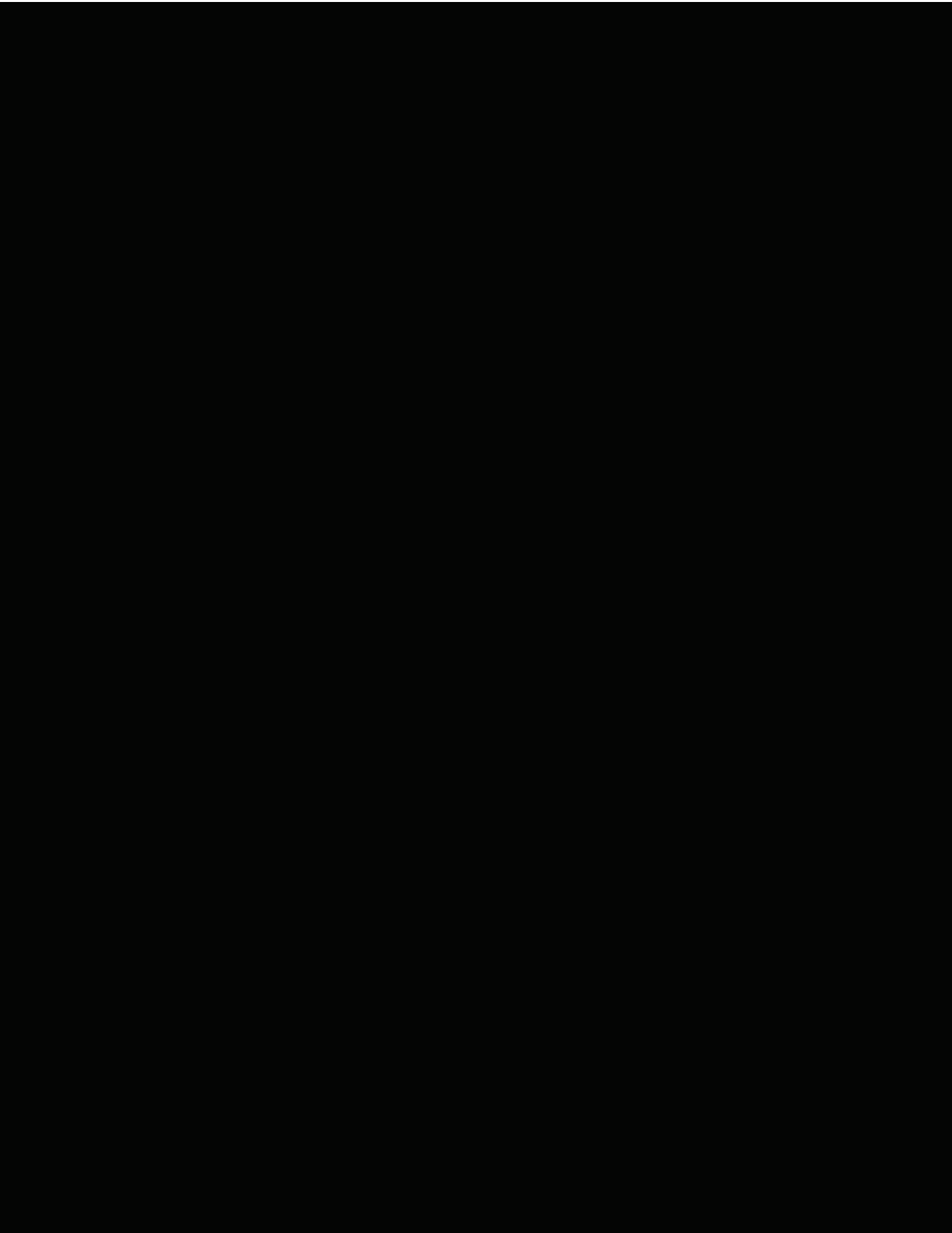
③ こう考えるのには理由がある。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2026年度 尚美学園大学 大学院選抜Ⅱ期 入学試験
日本語試験問題

問題1 次の文章（鈴木光司『なぜ勉強するのか?』）を読み、本文に基づいて各問に答えなさい。





問1 文中の _____ を引いてある漢字の読み方を書きなさい。

- | | | | | |
|----------|----------|--------------|-----------|----------|
| (1) 世代 | (2) 平気 | (3) 自体 | (4) 一連 | (5) 入れる |
| (6) 新たに | (7) 事柄 | (8) 書き記さなければ | (9) 至る | (10) 作業 |
| (11) 増して | (12) 疑って | (13) 姿勢 | (14) 見分ける | (15) 悪影響 |

問2 文中の _____ を引いてある漢字について、文脈に最も適した読み方を選びなさい。

- | | | | | |
|--------------------|---------|-------|-------|---------|
| (1) 出る <u>上</u> で | a じょう | b うえ | c かみ | d のぼり |
| (2) <u>身</u> につける | a からだ | b み | c しん | d たい |
| (3) <u>面</u> と向かって | a つら | b おもて | c めん | d かお |
| (4) <u>誤</u> った | a まちがった | b ちが | c あやま | d うっかりし |
| (5) 判断を <u>下</u> す | a くだ | b した | c さげ | d げ |

問3 A ~ H に当てはまる接続詞を選びなさい。

- | | | | |
|------------|--------|-----------|----------|
| A: a そのため | b しかし | c なぜなら | d 一方 |
| B: a 次に | b ついては | c しかるに | d すなわち |
| C: a それで | b ただし | c さらに | d それゆえ |
| D: a 他方 | b つまり | c ところが | d 加えて |
| E: a 要するに | b それでも | c とはいうものの | d これに対し |
| F: a もしくは | b しかも | c にもかかわらず | d だから |
| G: a その結果 | b その上 | c けれども | d では |
| H: a したがって | b それに | c たとえば | d それはそうと |

問4 1 ~ 6 に当てはまる副詞を選びなさい。

- | | | | |
|------------|--------|---------|-------|
| 1: a いずれ | b すっかり | c めったに | d 長々と |
| 2: a ほとんど | b あくまで | c せっかく | d 一段と |
| 3: a ぴったりと | b なかなか | c たつぷりと | d わざと |
| 4: a ごく | b たまたま | c 多少 | d 決して |
| 5: a せいぜい | b どうやら | c まったく | d やがて |
| 6: a ふと | b ますます | c つい | d 必ず |

問5 文中の_____と異なる意味の文を選びなさい。「異なる意味」です。

① そんなものは学校の外でいくらでも学べる

- a そういったことは学校以外でも簡単に習得できます。
- b 学校外の環境でも、必要なスキルは十分に得られます。
- c 学校に通わなくても、その知識は十分に身につけられます。
- d その程度のことなら、独学でも問題なく学べます。
- e 外の世界では十分に学ぶ機会が限定されます。

② 内容そのものはきれいさっぱり忘れていると思います。

- a 内容はすっかり頭から抜け落ちてしまっていると思います。
- b 内容を完璧に覚えているのではないかと思います。
- c 内容についてはもう何も覚えていないと言ってもいいくらいです。
- d 内容は記憶にはまったく残っていないと思います。
- e 内容については一切思い出せない状態だと思います。

③ 一切の無駄をそぎ落とした論理性が要求されます。

- a 余計な要素を排除した、純粹な論理的思考が求められます。
- b 無駄を一切含まない、厳密な論理展開が必要とされます。
- c シンプルで筋の通った論理構成が強く求められます。
- d 論理の流れに無駄がなく、明快であることが重視されます。
- e さまざまな角度からの多面的な意見が要求される場面です。

④ 返事に詰まることになるのです。

- a うまく答えられずに困ってしまうことになります。
- b 何と返せばいいのかわからなくなってしまいます。
- c 言葉がスムーズに出る状況になるのです。
- d 返答に迷ってしまうことになるでしょう。
- e 答えを出せずに戸惑うことになるのです。

⑤ 次から次へと垂れ流される情報を鵜呑みにするのではなく

- a 次々と流れてくる情報をそのまま信じるのではなく、疑ってみるべきです。
- b 大量の情報を無条件に受け入れるのではなく、冷静に見極める必要があります。
- c 絶え間なく押し寄せる情報を、何も考えずに信じるのは危険です。
- d 情報を次から次へと受け取るだけでなく、自分の頭で判断することが大切です。
- e 流れてくる情報は真実だと思って、分析する姿勢が求められます。

⑥ 自然に社会から排除されていきます。

- a やがて社会の中で受け入れられなくなっていきます。
- b 次第に人々の関心から外れていきます。
- c いつまでも人々の心の中に生き続けていきます。
- d 徐々に世の中から見向きもされなくなります。
- e 自然と人々の生活から遠ざかっていくことになります。

問6 文中の_____が指している内容を20文字以内で書きなさい。

- ① それは知識それ自体ではないのです。
- ② それはヨーロッパで起きた歴史的事実^{に詳しくなるためではないし、大学受験に合格するためでもない。}
- ③ 国語・数学・理科・社会といろいろな科目を学ぶことで、さまざまな角度から多面的にこれらの能力を磨いていく作業が学校での勉強なのです。
- ④ けれども、勉強の本質は知識それ自体の獲得ではなく、理解力・想像力・表現力という三つの能力の訓練だということは忘れてほしくありません。
- ⑤ そういう子は画面上の残酷シーンと現実を混同したりはしないでしょ。

問7 以下の文章が、本文の内容と合っているものには○を、間違っているものには×を書きなさい。

- ① 筆者は、いい年をした大人が「学校の勉強なんて社会に出ても何の役にも立たない」と言うのは、非常に理にかなった見解だと考えている。
- ② 筆者は、学校で本当に学ぶべきことは、世界史におけるフランス革命の年号などの「知識」そのものであると考えている。
- ③ 世界史を学ぶ本当の目的は、ヨーロッパで起きた歴史的^{事実}に詳しくなることや、大学受験に合格することである。
- ④ 筆者は、文系の人にとって無用な知識である数学の微分積分であっても、理解力・想像力・表現力のトレーニングになるという点で無意味ではないと考えている。
- ⑤ 勉強の本質は、知識を多く獲得することにあり、その知識をいかに効率よく暗記するかが重要である。
- ⑥ 「読み書き算盤」のような勉強の初歩は、理解力・想像力・表現力を磨くための最初のトレーニングであると筆者は考えている。
- ⑦ 勉強する意味を親が理解していないと、子どもに説明できなくなる。
- ⑧ 筆者は、世界の仕組みに対する深い理解は、小説家以外の仕事をしている人には特に必要ないと考えている。
- ⑨ リテラシー能力とは、メディアが発信するメッセージを批判的に読み解き、深く解釈する能力のことであり、勉強で身につける力である。
- ⑩ 子どもたちがリテラシー能力を持っていたとしても、遊びと現実を混同してしまうため、残酷なテレビゲームは社会から排除すべきである。

問題2 「SNSでの誹謗中傷^{ひぼうちゅうしょう}をなくすために、実名制^{じつめいせい}を導入すべきだ」という意見があります。これについて、あなたは賛成ですか、反対ですか。あなたの立場を明確にしたうえで、その理由とあなたの意見を具体的に論じなさい。文体は「だ・である調」とし、200字程度で横書きにまとめなさい。

「誹謗中傷」…人のことを悪く言ったり、うそを言ったりして、人を傷つけること。

「実名制」…隠さずに本当の名前を使う仕組み。ニックネームではなく、本名を使うこと。

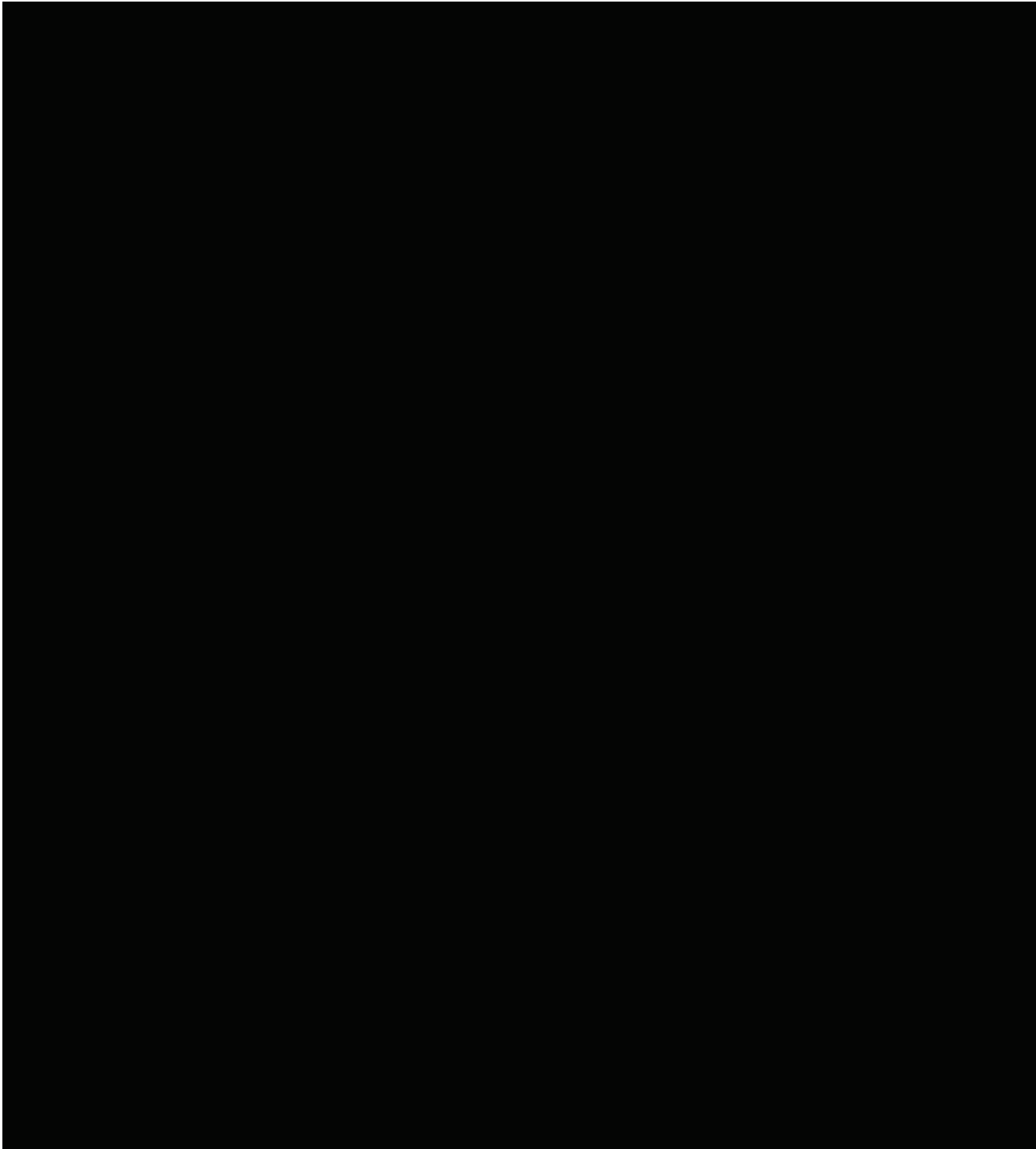
受験番号		氏名	
------	--	----	--

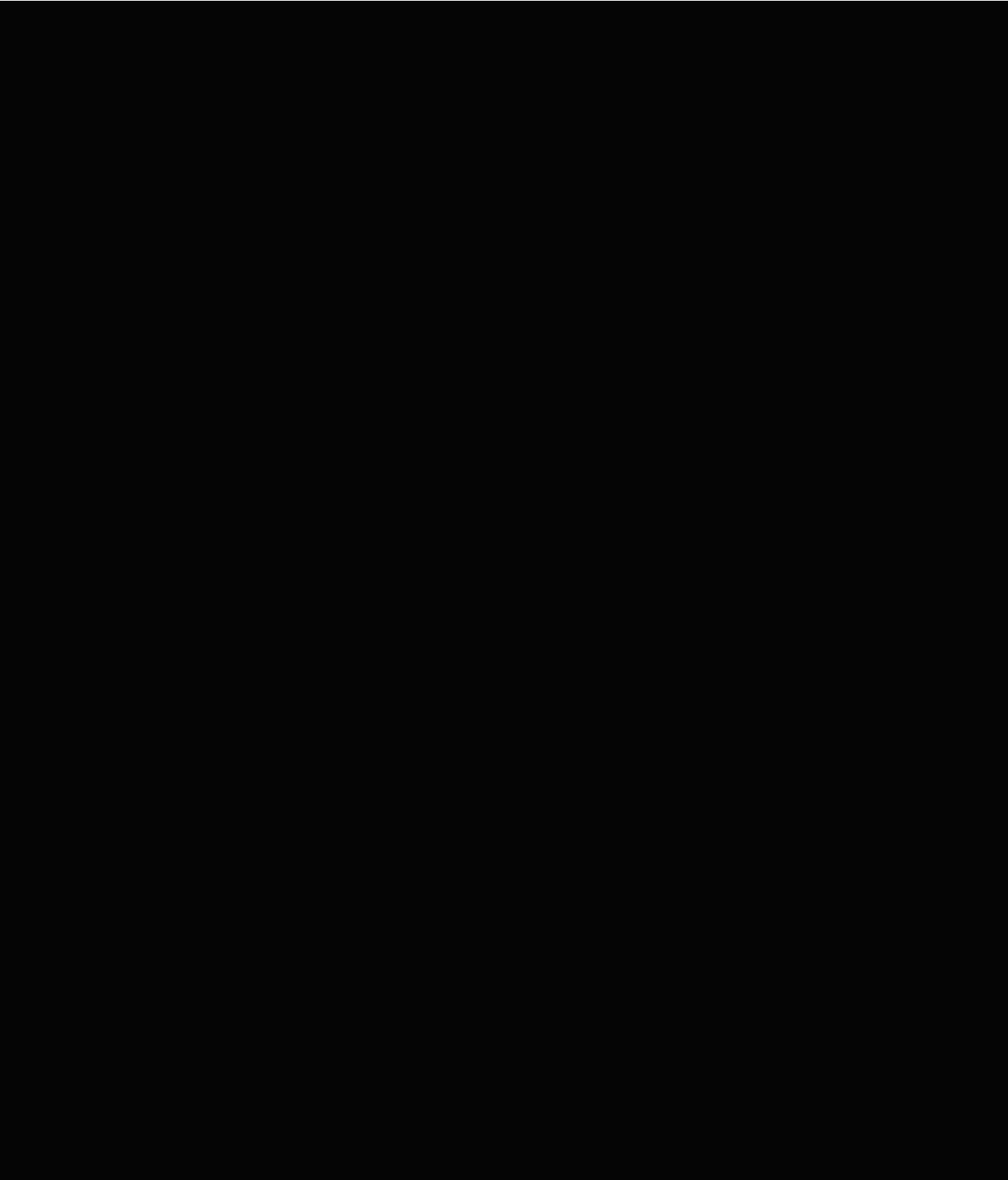
2026年度 尚美学園大学 大学院選抜Ⅲ期

日本語試験問題

問題1 次の文章（日垣隆『つながる読書術』）を読み、本文に基づいて各問に答えなさい。

※ 本文中の□や下線は、設問に対応する空所・語句番号を示す。





問1 文中の_____を引いてある漢字の読み方を書きなさい。

- | | | | | |
|------------|----------|---------|---------|---------|
| (1) 溺れて | (2) 波及して | (3) 無駄 | (4) 自体 | (5) 名誉 |
| (6) 傲慢 | (7) 陥った | (8) 具体的 | (9) 相当に | (10) 才能 |
| (11) 覆っている | (12) 驚愕 | (13) 既知 | (14) 著者 | (15) 着眼 |

問2 文中の_____を引いてある漢字について、文脈に最も適した読み方を選びなさい。

- | | | | | |
|----------------------|-------|-------|-------|-------|
| (1) リスクを <u>負</u> って | a おって | b ぬって | c ふって | d まって |
| (2) <u>先</u> を考える | a さき | b せん | c まえ | d まず |
| (3) <u>大</u> いなる | a おお | b おおき | c たい | d だい |
| (4) <u>欠</u> かせません | a か | b き | c く | d けつ |
| (5) 取引 <u>先</u> | a さき | b せん | c まえ | d まず |

問3 A ~ F に当てはまることばを選びなさい。

- | | | | |
|------------|---------|--------|----------|
| A: a そして | b しかし | c なぜなら | d ところが |
| B: a さて | b したがって | c ついでに | d あくまで |
| C: a このように | b それゆえ | c はたして | d もしかすると |
| D: a かえって | b せっかく | c そもそも | d とうとう |
| E: a およそ | b ついに | c まさか | d まずは |
| F: a あるいは | b 加えて | c ただし | d 例えば |

問4 1 ~ 7 に当てはまることばを選びなさい。

- | | | | |
|-----------|--------|--------|---------|
| 1: a うっかり | b じっくり | c すっかり | d すっきり |
| 2: a およそ | b かなり | c まさか | d わずかに |
| 3: a 案の定 | b せめて | c たぶん | d まさに |
| 4: a あいにく | b あえて | c せっかく | d とりあえず |
| 5: a まず | b あながち | c ほとんど | d ろくに |
| 6: a ごく | b ぜひ | c つい | d ふと |

- 7: a あくまで b まるで c 必ず d めったに
8: a かって b いわゆる c どうせ d やっぱり

問5 文中の_____と異なる意味の文を選びなさい。「異なる意味」です。

① 本当のところはどうか?

- a 表面的な情報に惑わされず、事態の真相を把握すること。
- b 多角的な視点から検討し、物事の本質を突き止めること。
- c 世間一般で言われていることが、事実と合致しているか確認すること。
- d 個人的な感情はさておき、客観的な実態がどうであるか探ること。
- e 自分の都合の良いように、物事の解釈を書き換えてしまうこと。

② 問題の海で溺れない方法 (※ 異なる意味)

- a 多くの問題に押し流されずに済む方法。
- b 複雑な問題の中で迷わず進むための手段。
- c さまざまな問題から完全に逃げ切る裏技。
- d 数多くの問題に圧倒されないための助け。
- e 課題に飲みこまれず、冷静に考えるための方法。

③ 思考の海で溺れない方法 (※ 異なる意味)

- a 膨大な情報や課題に直面しても、自分を見失わないためのやり方。
- b 複雑な問題に翻弄されて、身動きが取れなくなる事態を避ける手段。
- c 多くの選択肢を前にして、思考が停止し混乱することを防ぐ方法。
- d 考えるべきテーマが多すぎて、処理しきれなくなるのを回避する策。
- e 深く考えることをやめて、流れに身を任せて楽に生きるためのコツ。

④ 三手くらい先を考えなければ、 (※ 異なる意味)

- a 少し先の展開まで見通して考えなければならない。
- b 将来の展開を踏まえて、先を読む必要がある。
- c 行き当たりばったりでも十分に対応できるはずだ。
- d いくつか先のことを予測しながら書く必要がある。
- e 次の段階、そのまた次を想定して考える必要がある。

⑤ アウトプットを活用すると、頭の中が整理され、 (※ 異なる意味)

- a 書いたり話したりすることで、考えがまとまりやすくなる。
- b 表に出すことで、自分の思考が整理される助けになる。
- c 考えていることを形にすると、思考の流れが整いやすい。
- d 外に出す行為が、頭の中を混乱させる要因となる。
- e アウトプットによって、より先の手まで考えられるようになる。

問6 文中の _____ について、最も適切なものを一つ選びなさい。

① 筆者が「本を読んで多面的に考える」ことを勧めている主な理由は何か。

- a 自分一人の知識だけでは、現代の複雑な問題の真相を解明できないから。
- b 本にはあらゆる問題の正解が書かれており、それを知るのが効率的だから。
- c 多くの問題が溢れる現代において、思考の混乱を防ぐヒントになるから。
- d 同僚と議論をする際に、本の内容を引用することで説得力が増すから。

② 「三手以上先まで考える」という表現について、筆者の説明として適切なものはどれか。

- a プロの物書きだけに求められる、特殊で高度な技術のことである。
- b 自分の発信に対する他者の反応や、潜在的なリスクを予測することである。
- c 過去の事例を詳細に分析し、失敗の原因を三つ以上特定することである。
- d 悩みを解決するために、まず最初にとるべき具体的な行動のことである。

③ 筆者が「頭の中だけで問題をいじくりまわしている」状態を否定的に捉えているのはなぜか。

- a 頭の中で考えることは時間の無駄であり、すぐに議論をすべきだから。
- b 人間の脳には限界があり、アウトプットなしでは具体的に思考を深められないから。
- c 悩んでいる姿を他人に見せることは、社会人として傲慢だと思われるから。
- d 頭の中で考えるよりも、感性に従って行動する方が結果が良いから。

④ 筆者が挙げる「三つのおもしろさ」のうち、著者の独自の考え方に注目して読むのはどの観点か。

- a 事実のおもしろさ
- b 解釈（著者の意見）のおもしろさ
- c 文体（話術）のおもしろさ
- d 着眼（発見）のおもしろさ

- ⑤ 「中毒的にする」という表現を通じて、筆者が仕事において重要だと考えていることは何か。
- a 相手が依存してしまうような、過激な情報を発信し続けること。
 - b 誰にでも予測可能な、安定したサービスを継続して提供すること。
 - c 「この人でないとだめだ」と思われるような、代えがたい存在になること。
 - d 効率的に利益を上げるために、顧客の心理を完全にコントロールすること。

問7 本文の内容に基づき、次の問いに対して、最も適切なものを一つ選びなさい。

- ① 筆者がトラック運転手時代の「日報」を例に挙げた意図は何か。
- a かつての自分の職業経験が、現在の執筆活動の基盤になっていることを伝えるため。
 - b 「書く」という行為が、特定の職種に限らず社会生活に広く浸透していることを示すため。
 - c 日報のような短い文章の積み重ねが、才能を伸ばす唯一の方法だと強調するため。
 - d ブルーカラーの労働環境においても、高度な論理的思考が必要であることを証明するため。
- ② 本文における「事実」「解釈」「文体」の三つの観点についての説明として、正しいものはどれか。
- a 文章を読みおもしろいと感じる際、この三つの要素すべてが揃っていないといけない。
 - b 難解な文章であっても、事実が平凡であればおもしろいと感じることはできない。
 - c 既知の事柄を扱っていても、著者の解釈や意見が独創的であれば価値がある。
 - d 小説やエッセイにおいては、事実の正確さが最も重要視されるべきである。
- ③ 「中毒的にする」という表現に関連して、筆者が「売文稼業で生きている私の願い」として述べていることは何か。
- a 読者の予想通りの結論を提示し、安心感を与え続けること。
 - b どのような話題であっても、常に自分の得意なパターンで書くこと。
 - c 次に何を言うか想像がつかないという期待感を読者に抱かせること。
 - d 他の作家よりも多くの情報を、より早く読者に提供すること。
- ④ 筆者は「書く」ことがどのような人にとっての助けになると述べているか。
- a 頭の中だけで数手先まで完璧に考えられる、一部の才能豊かな人。
 - b 日常生活でメールなどの文字のやり取りをほとんど行わない人。
 - c 論理的な思考を苦手とし、感覚だけで行動することを好む人。
 - d アウトプットを活用することで頭の中を整理したいと願う普通の人。

- ⑤ 本文全体を通じて、筆者が最も強調しているメッセージはどれか。
- a 本を読み、文章を書くという一連のプロセスが、自立した思考の大きな助けとなる。
 - b インターネットや SNS の時代において、本という媒体の価値は相対的に低下している。
 - c 他者との論議に勝つためには、まず自分一人で正解を見つける訓練が必要である。
 - d プロの物書きになるためには、他人の文章を分析するよりも自分独自の感性を磨くべきだ。

問 8 以下の文章が、本文の内容と合っているものには○を、間違っているものには×を書きなさい。

- ① 現代社会には「考えるべきテーマ」が溢れており、何の準備もなしに立ち向かうと、問題の複雑さに混乱してしまう恐れがある。
- ② 筆者は、複雑な問題に対して「本当のところはどうなのか」という問いよりも、「自分がどう動くか」をまず優先して考えるべきだと述べている。
- ③ 筆者は、一人で考えるよりも、本を読むことで多面的に考えられると考えている。
- ④ 同僚と議論を行うのは、本を読み、文章を書いて自分の思考を深めた後で行うべきである。
- ⑤ 文章を書くという行為には、読み手がどう思うかや、法的なリスクまでを予測する「数手先を読む思考」が含まれている。
- ⑥ 筆者は「書くこと＝考えること」と述べているが、これはプロの文筆家だけに当てはまる特殊な能力であると考えている。
- ⑦ リスクが重なっている困難な状況を乗り越えるためには、一手先のことだけを考えて迅速に行動を起こすことが最も有効である。
- ⑧ 多くの人は悩み事があるとき、頭の中だけで問題を考えがちだが、それでは数手先まで具体的に考えることは難しい。
- ⑨ 「書く」「話す」といったアウトプットの手段を活用することは、普通の人にとって思考を整理し、先を見通すための大きな助けとなる。
- ⑩ 現代では、職業や年齢に関係なく「書く」ことが日常生活に広く関わっていると述べられている。

問題 2 現代は情報があふれており、「必要な情報だけを選んで受け取る力が、これまで以上に重要だ」という意見がある。この意見について、あなたは賛成か、反対か。あなたの立場を明確にしたうえで、情報を選ぶ際に大切だと思う点について具体的に論じなさい。文体は「だ・である調」とし、200 字程度で横書きにまとめなさい。

II. 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

問題 上記英文を全て日本語に直しなさい。

私たちの土地、海、川、そして空の汚染は、ますます悪化しています。私たちは自らの世界を以前よりずっと汚い場所に変えてしまっており、そのために多くの動物が生息できなくなっています。公害は私たち全員にとって有害です。それは動物たちを死に追いやっており、遅かれ早かれ、人間をも死に至らしめることになるでしょう。世界の人口は絶えず増え続けています。大都市に住む人々が増えるほど、より多くの土地が占有され、さらなる汚染が引き起こされます。その結果、私たちは動物たちの自然な住み家を猛烈な勢いで奪っているのです。彼らは一体どこへ行けばよいのでしょうか。結局のところ、その答えは「どこにも行く場所がない」という場合が多く、そうして動物たちは死んでいくのです。

III. 次の各英文を日本語に直しなさい。

(1) Leave this tool as it is for the moment.

当分の間、この道具はそのままにしておきなさい。

(2) The coach had the players run for another hour.

コーチは選手たちをさらにもう1時間走らせた。

(3) Those who were against the proposal did not attend the meeting.

その提案に反対した人々は、会議に出席しなかった。

(4) Everything is exactly as it once was.

すべてが、まさに昔のままである。

- (5) Not receiving an answer, I wrote her again.
返事がなかったので、私は彼女にもう一度手紙を書いた。
-
- (6) If she had not married him, she would be happy now
もし彼女が彼と結婚していなかったら、今ごろ幸せだろうに。
-
- (7) I tried to persuade him, but in vain.
私は彼を説得しようとしたが、無駄だった。
-
- (8) No amount of wealth can satisfy him.
どれほどの富があっても、彼を満足させることはできない。
-
- (9) Much to his relief, his car was not damaged.
大変ほっとしたことに、彼の車は傷ついていなかった。
-
- (10) This book can be of much help to anyone who wishes to succeed.
この本は、成功したいと願うすべての人にとって、大いに役立つ可能性がある。
-

IV. 次の日本語に合う英文を作りなさい。ただし、冒頭に来る語も小文字にしてある。

- (1) 彼女は走る前に準備体操をすべきだった。
(have, she, some, exercise, should, before, warm-up, done, running).
She should have done some warm-up exercise before running.
-
- (2) 彼の収入のおかげで我々は楽に暮らすことができた。
(enabled, income, to, in, his, us, live, comfort).
His income enabled us to live in comfort.
-
- (3) 彼は私の倍の本を持っています。
(many, has, as, he, I, books, as, twice).
He has twice as many books as I.
-
- (4) なぜアリスがダイエットしたがるのか私には分かりません。
(wants, I'm, go, why, on, a, to, Alice, sure, not, diet).
I'm not sure why Alice wants to go on a diet.
-

- (5) どのくらいの期間、彼女はそこに滞在するつもりですか。
(is, stay, how, going, to, long, she, there).

How long is she going to stay there?

V. 日本文に合うように、次の英文の () 内に適語を入れなさい。

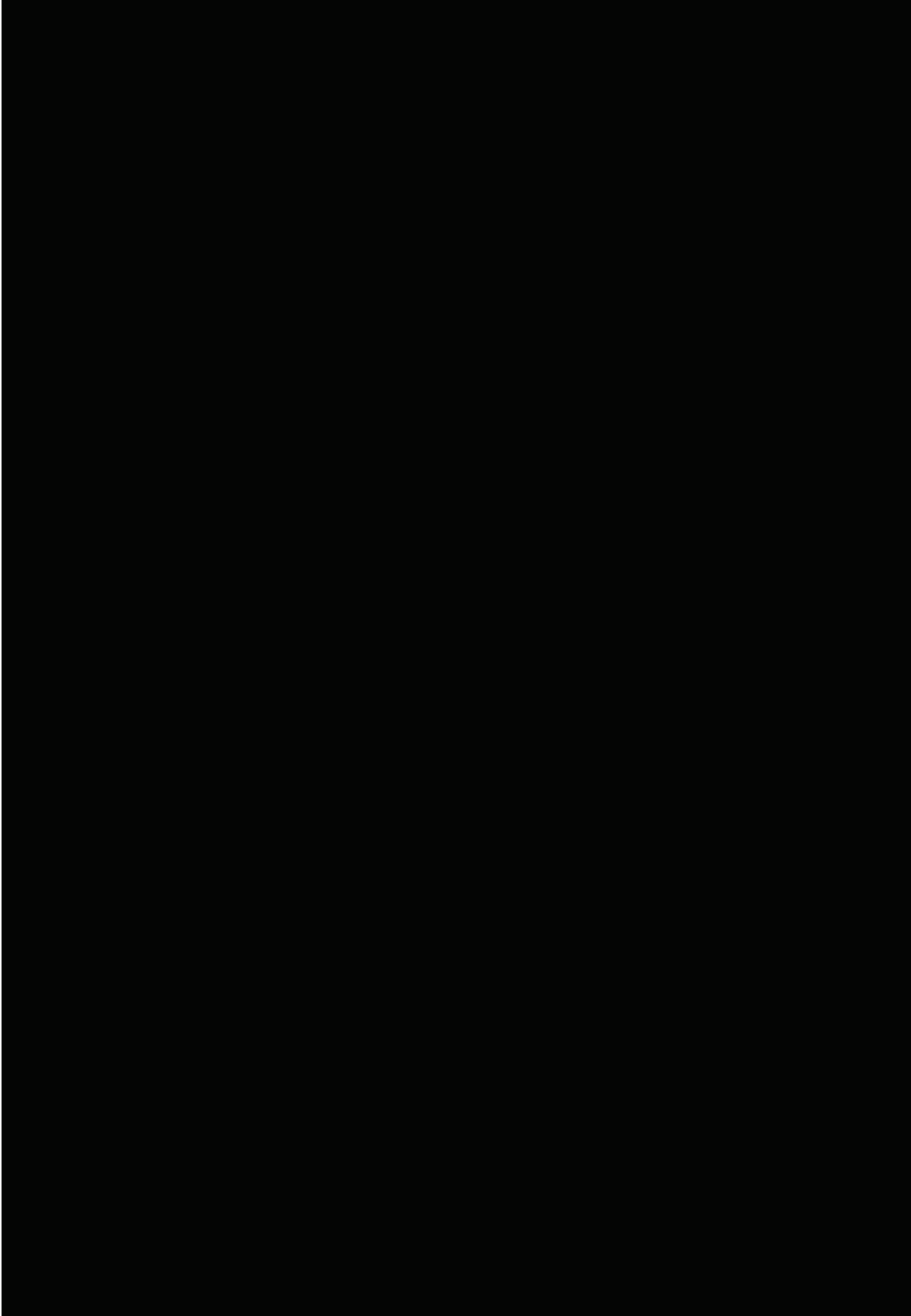
- (1) そんなにすぐに片付ける必要はないです。
You (**don't**) have (**to**) tidy up so soon.
- (2) 彼が医者であるはずはない。
He (**cannot**) (**be**) a doctor.
- (3) 彼は医者だったに違いない。
He (**must**) (**have**) been a doctor.
- (4) もし明日雨が降れば私は家にいます。
If (**it**) (**rains**) tomorrow, I'll stay home.
- (5) 私は駅への行き方がわかりません。
I don't know (**how**) (**to**) get to the station.
- (6) 彼女はダンサーというよりは歌手である。
She is not (**so**) (**much**) a dancer as a singer.

- (1) **don't** **to**
- (2) **cannot** **be**
- (3) **must** **have**
- (4) **it** **rains**
- (5) **how** **to**
- (6) **so** **much**

2026年度 尚美学園大学 大学院選抜 I期
日本語試験 問題

一、次の文章（齋藤孝「読書力」）を読み、本文に基づいて各問題に答えなさい。

受験番号		氏名	解答例
------	--	----	-----



問題一 文中の~~~~~ (波線) を引いてある漢字の読み方を書きなさい。(2点×8問)

- (1) 基礎 **きそ** (2) 提示 **ていじ** (3) 当 **とう**
 (4) 怒り **いかり** (5) 負っている **おつている** (6) 無知 **むち**
 (7) 厳しく **きびしく** (8) 把握 **はあく**

問題二 文中の==== (二重線) を引いてある漢字について、文脈に最も適した読み方を選び、【 】に記号を書きなさい。(1点×4問)

- (1) 大量 【 **b** 】 a だりよう **b たいりよう** c おおりよう d おうりよう
 (2) 後 【 **b** 】 a うしろ **b あと** c のち d づい
 (3) 十分 【 **c** 】 a じゅつぶん b じつぶん **c じゅうぶん** d とうぶん
 (4) 上手 【 **a** 】 **a じょうず** b うわて c かみて d じょうしゅ

問題三 A 　　、 D 　　に当てはまる接続詞を選び、【 】に記号を書きなさい。(1点×4問)

- A 【 **c** 】 a そのため b ゆえに **c しかし** d さらに
 B 【 **a** 】 **a そして** b たたし c および d 逆に
 C 【 **b** 】 a だが **b つまり** c 一方 d とはいえ
 D 【 **b** 】 a 他方 **b したがって** c にもかかわらず d それはさうと

問題四 1 　　、 6 　　に当てはまる副詞を選び、【 】に記号を書きなさい。(1点×6問)

- 1 【 d 】 a いずれ b 決して c めったに d すっかり
- 2 【 a 】 a たしかに b あくまで c せつかく d おそらく
- 3 【 b 】 a びつたりと b たつぷりと c 一段と d わざと
- 4 【 d 】 a ごく b たまたま c 全然 d なおさら
- 5 【 c 】 a せいせい b どうやら c はつきりと d やがて
- 6 【 d 】 a ごと b ますます c つい d 多少

問題五 文中の (一本線) と異なる意味の文を選んで、【 】 に記号を書きなさい。「異なる意味」を選びなさい。(1点×4問)

① まったくと言っていいほど読まない者が三割ほどはいる。

- 【 b 】 a ほとんど本を読まない人が約三〇%いる。
 b あまり本を読まない人がおよそ三〇%いる。
 c 本をめったに読まない人がだいたい三〇%いる。
 d 読書習慣がまるでない人がほぼ三〇%いる。

② 無理のないことなのかもしれない。

- 【 a 】 a 不思議なことだと言えるだろう。
 b 仕方のないことかもしれない。
 c あり得ることと思われる。
 d 自然な流れとも考えられる。

③ 読書は単に情報の摂取のためにあるばかりではない。

- 【 c 】 a 読書は情報を取り入れるためだけに行うものではない。
 b 読書は情報を得る以外にも多くの役割を果たす。
 c 読書は情報を集めるだけの行為である。
 d 読書は情報を得る手段にとどまらない。

④ 本をめぐる会話が活性化する。

- 【 c 】 a 本についての対話が盛んになる。
 b 本に関する話題や意見交換が盛んになる。
 c 本のことを話す機会が限られる。
 d 本についてのコミュニケーションが豊かになる。

問題六 文中の (波線) は何を指しているか書きなさい。(2点×3問)

① こんなことは大学ではかつては当たり前前のことであつた。

大学生は全頁本を読まなければならないこと。

② こう断言したい。

本は読まなければいけないものだ。

③ こう考えるのには理由がある。

私の基準としては、本を読んだというのは、まず「要約が言える」ということだ。

2026 年度 尚美学園大学 大学院選抜Ⅱ期 入学試験
日 本 語 試 験 問 題

受験番号		氏名	解答例
------	--	----	-----

問題 1

問 1 (2点×15問)

(1)	せだい	(2)	へいき	(3)	じたい
(4)	いちれん	(5)	いれる	(6)	あらたに
(7)	ことがら	(8)	かきしるさなければ	(9)	いたる
(10)	さぎょう	(11)	まして	(12)	うたがって
(13)	しせい	(14)	みわける	(15)	あくえいきょう

問 2 (1点×5問)

(1)	b	(2)	b	(3)	c	(4)	c	(5)	a
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---

問 3 (1点×8問)

A	c	B	a	C	b	D	b
E	a	F	d	G	d	H	c

問 4 (1点×6問)

1	d	2	a	3	b	4	d	5	c	6	d
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

問 5 (1点×6問)

①	e	②	b	③	e	④	c	⑤	e	⑥	c
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

問6 (3点×5問)

①	学	校	で	本	当	に	学	ぶ	べ	き	こ	と						
②	フ	ラ	ン	ス	革	命	を	学	ぶ	こ	と							
③	理	解	力	と	表	現	力	と	想	像	力							
④	知	識																
⑤	リ	テ	ラ	シ	ー	能	力	を	持	っ	て	い	る	子				

問7 (1点×10問)

①	×	②	×	③	×	④	○	⑤	×
⑥	○	⑦	○	⑧	×	⑨	○	⑩	×

問題2 (20点)

受験番号		氏名	解答例
------	--	----	-----

問題1

問1 (2点×15問)

(1)	おぼ (れて)	(2)	はきゅう (して)	(3)	むだ
(4)	じたい	(5)	めいよ	(6)	ごうまん
(7)	おちい (った)	(8)	ぐたいてき	(9)	そうとう (に)
(10)	さいのう	(11)	おお (っている)	(12)	きょうがく
(13)	きち	(14)	ちょしゃ	(15)	ちゃくがん

問2 (1点×5問)

(1)	a	(2)	a	(3)	a	(4)	a	(5)	a
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---

問3 (1点×6問)

A	a	B	a	C	a	D	c	E	d	F	d
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

問4 (1点×8問)

1	a	2	b	3	c	4	d	5	c	6	a	7	c	8	d
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

問5 (1点×6問)

①	e	②	c	③	e	④	c	⑤	d
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

問6 (2点×5問)

①	c	②	b	③	b	④	b	⑤	c
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

問7 (3点×5問)

①	b	②	c	③	c	④	d	⑤	a
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

問8 (1点×10問)

①	○	②	×	③	○	④	○	⑤	○
⑥	×	⑦	×	⑧	○	⑨	○	⑩	○

問題2 (10点)

■2026 年度 入学試験問題の出題意図

本学大学院の入学試験は、専門分野を研究するうえで必要な能力をはかるため、以下のような意図をもって出題しています。

・論文

論理的構成力、語彙表現力および自分の意見を展開する力を問います。

・英語・日本語

語彙力、文章の主旨・構成を的確に把握する力および論理的な読解力を問います。

※出題の意図についての質問、照会には回答していません。

尚美学園大学 入試・広報課 〒350-1110 埼玉県川越市豊田町1-1-1

HP <https://www.shobi-u.ac.jp/> E-mail info@s.shobi-u.ac.jp  **0120-80-0082**